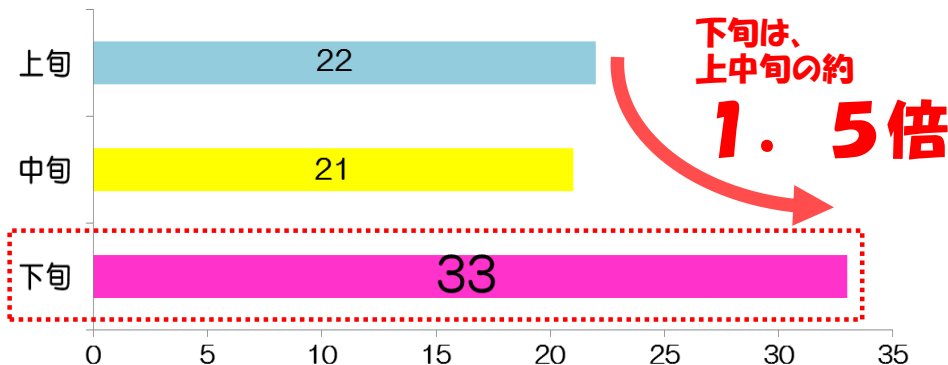


交通事故防止のPOINT

7月

梅雨明け後に死亡事故が急増

〈過去5年 旬間別 死亡事故発生件数〉

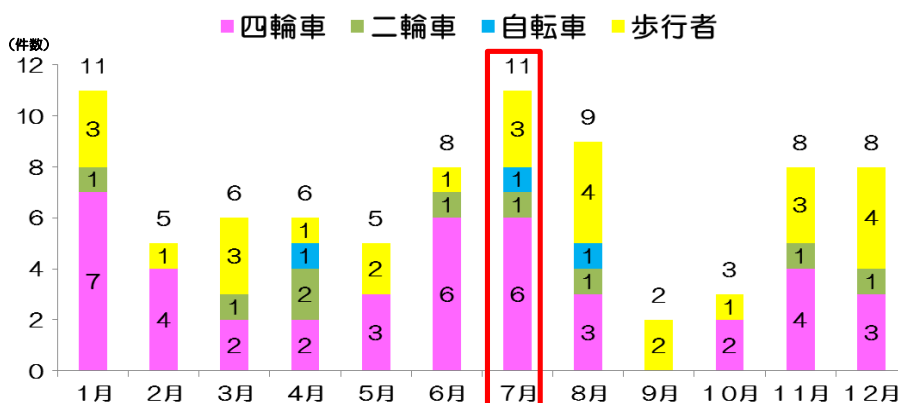


暑さが本格的となる梅雨明け後に

正面衝突や追突事故が多発

飲酒関連の死亡事故が多発

〈過去5年 第1当事者の飲酒あり死亡事故件数〉



飲酒運転が多発

飲酒運転のほか、歩行者が酔って路上で寝てしまい車に轢かれる事故も3件発生しています。

※ 過去5年（H25～H29）に愛知県において発生した交通死亡事故を分析した結果です。

東海地方の平均的な梅雨明けは7月21日（気象庁HP）ですが、交通死亡事故は梅雨明け後の下旬に急増する傾向があります。特に、暑さが本格的となるこの時期は、注意力散漫が原因と思われる四輪車の正面衝突事故や追突事故が増加する傾向がありますので、ドライバーの方は早めに休憩を取るなど、漫然運転とならないように注意してください。

また、7月は飲酒運転による事故が多発するとともに、歩行者が酔って路上で寝て事故に遭うケースも散見されます。夜間、特に街路灯などの照明が無い場所を運転する場合は、不測の事態にも対応できるような速度を控えてください。

